

ディボーション質問表

1日(日)先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かせたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

2日(月)サムエル記第一 14:24~52

1. 24節のように、リーダーが皆の決意を高めるために厳しい決断を強いることは他の聖書箇所でもできますが、ここではどうですか？ サウルのリーダーシップはどのようなものでしょうか？ それはどのような結果を生みましたか(31~35節)？
自分のリーダーシップはどうですか？ 自分の愚かさの故に状況が苦しいのに部下のせいや神のせいにしていないだろうか？
2. 37~46節、サウルの勝手気ままな行動は続きます。「困ったときの神頼み」はどうになりましたか(37節)？ その結果をサウルはどう理解しましたか(38節~ヨシュアがアカンにしたものとは質は違います〔ヨシュア7章参照〕)？ 自分で思い込んだ結果を求めようとするサウルは、実の息子をどうしましたか(43、44節)？ 民はどのように対応しましたか？
自分の思い込みや自分のことは棚に上げ周りのせいにする狭い視野を確認できる謙虚さと時間を持っているだろうか？

3日(火)サムエル記第一 15:1~35

- この事件で、彼は完全に神から見放されます。サウルの悔い改めの行動を追ってください。10~35節(2サムエル12章、詩篇51編と比較すると正しい悔い改めと間違っものがよくわかるでしょう。)
自分にもサウルのような態度はないだろうか？ 正しい悔い改めを身に着けているだろうか。

4日(水)サムエル記第一 16:1~23

1. 神様の判断基準は何ですか(7節)？
自分はどのような判断基準に囚われているだろうか？ 外見を磨いているだろうか？ それとも自分の心を磨いているだろうか？
2. 14~23節より、何を学びますか？ 神様から選ばれた者が愚かな行動を取り続けるとどうなりますか(14節)？ 真の礼拝者にはどのような力がありますか(23節)？

5日(木)サムエル記第一 17:1~30

1. ゴリアテの存在と彼の言葉に、サウル王とイスラエル人はどう感じていましたか(11節)？
2. では、ダビデはどう思っていましたか(26節)？ ダビデに対する兄たちの洞察は正しいでしょうか(28節)？ ダビデはどこに焦点を合わせていますか？ サウルや兄たちはどこに焦点をあわせていますか？

6日(金)サムエル記第一 17:31~58

1. 26節のダビデの言葉は理想論や空元気ではなく、日々の経験からくるものでした。(34~37節)
日々のディボーションや努力もしないで、輝かしい勝利を夢見ていないだろうか？ 日々神の業を体験しているだろうか？
2. ダビデは、戦いのために何を選びましたか(38~40節)
周りの人の言葉や成功した方法などに囚われず自分らしさを持っているだろうか？
3. ダビデの戦場での態度はどうですか(48~51節)？

7日(土)サムエル記第一 18:1~16

1. ヨナタンはダビデのどんなところに惹かれたと思いますか？ このように尊敬できる友人を持つ事は、人生の一大特権です。あなたにとってこのような友人は誰でしょうか？
2. この箇所でのサウルの態度は世の政治家を彷彿とさせます。このようないわれのないねたみをもたれた事がありますか？ また、誰かに対して自分がこのようなねたみを持っていませんか？
3. サウルはダビデを恐れしました。何を恐れたのでしょうか？ またそのような精神状態の時には、悪い霊が臨みます。悪霊に働くきっかけを与えているところが何かありませんか？